

東日本大震災・原子力災害学術研究集会実施業務 委託仕様書

1 業務の名称

東日本大震災・原子力災害学術研究集会実施業務委託

2 業務期間

契約締結日～令和8年3月26日（木）

3 業務場所

東日本大震災・原子力災害伝承館（以下「伝承館」という。）及び研究集会実施会場とする。

4 業務の目的

伝承館における調査・研究活動の推進及び人材育成に資するため、東日本大震災及び原子力災害に関わる研究者等の参加の下、各研究活動の発表を行う学術研究集会を実施する。

5 概要

（1）業務概要

伝承館における調査・研究事業の一環である「東日本大震災・原子力災害第3回学術研究集会（以下「研究集会」という。）」実施に関する事務局機能にかかる作業一式を行う。

（2）開催概要

ア 参加者

東日本大震災及び原子力災害に関する研究等をしている研究者並びに大学生等100名程度を想定する。

なお、幅広い分野における学術交流及び情報交換を主旨とするため、東日本大震災及び原子力災害に関わる分野であれば、社会学、心理学、医学・看護学、政治学、経済学、行政学、理学、工学、地域研究、メディア研究、リスク研究、まちづくり、STS研究、都市計画等、参加者の研究分野は問わないこととする。

イ 参加料金

無料

ウ 日程

令和8年3月19日（木）及び20日（金・祝）の2日間とする。

エ 会場 ※仮予約済み

コラッセふくしま（福島県福島市三河南町1-20）4階

多目的ホール（メイン会場）、中会議室401、小会議室402、小会議室403

※小会議室403は控室

6 委託業務の内容

次の（1）から（3）までに掲げる各業務を行う。

（1）開催にかかる事前準備業務

ア チラシ及びポスターの作成と発送

研究集会の開催案内と参加者募集に関するチラシ及びポスターを作成すること。チラシとポスターの内容は同じものでも構わない。

また、作成したチラシ及びポスターを委託者が指定する場所へ、指定する部数以上を発送すること。

チラシ及びポスターについては、紙媒体に加え、データ（PDF）でも提出すること。

チラシ及びポスターの規格は下記のとおり。

（ア）サイズ [チラシ] A4、片面印刷、フルカラー

[ポスター] A2、片面印刷、フルカラー

(イ) 数 量 チラシ 5,000 部、ポスター 200 部

(ウ) 送付先 各施設への送付部数、送付先は別紙送付先一覧のとおり。

(エ) 納 期 委託者と協議の上決定する。

イ 研究集会に関するホームページの運用

研究集会のホームページを運用すること。また、運用経費（サービス利用料等）の支払いに関する業務を含むこと。

なお、ホームページは一昨年度から使用しているページが使用できることから、そのデータを更新して運用すること。（<https://gakujutsushukai.jp/311-triple-disaster>）

開催案内、発表募集要項に大きな変更はないが、集会名や日付などの修正を行う必要がある点に注意すること。

また、研究集会への参加申込、発表申込は当該ページの機能により受付すること。

なお、データ更新などに必要なアカウント等については、委託者が提供する。

ウ 広報及び後援依頼等に関する業務

研究集会の開催及び参加者募集に関して、関係する学会等への広報活動を行うこと。また、指定する学会へ後援の依頼を行うこと。

なお、広報及び後援依頼は主にメールにて行うこと。送付・依頼先は 13 件あり、宛先については別途委託者から提供する。

エ 参加者の申込み受付業務と案内業務

参加者からの問合せ、Q & A 等の対応を行うこと。

また、開催直前に参加者へ連絡を行うこと。

オ プログラムの作成補助及び印刷

当日のプログラムの作成に関する委託者への補助を行うとともにプログラムの校了版を発表者及び参加者の人数分印刷すること。

カ 予稿集データの作成とホームページへの掲載

予稿集用の原稿を発表者より集め、プログラムの順番に並べたデータを作成すること。

また、作成したデータは研究集会のホームページ上へ掲載すること。

なお、予稿集のフォーマットは別途委託者から提供する。

キ 立て看板及びメイン会場の横に設置する看板の作成

ク 会場の予約、利用料金に関する業務

会場の本予約に関する事務及び利用料金の支払いに関する業務を行うこと。

ケ 当日運営マニュアルの作成

当日に事務局が使用するマニュアルを作成すること。

コ その他開催にかかる事前準備に必要であると認められる業務

(2) 当日の運営業務

ア 当日の参加者受付業務

受付では、参加者に自分で名前を書いてもらう形式の名札を配布する。そのため、名札及びケース（首から下げるタイプのもの）、名前を書くことができる台や筆記用具を準備すること。

イ 各会場の進行等の運営業務

各会場にタイムキーパー 1 名、マイク回し 1 名の合計 2 名を配置すること。ただし、2 名以上を配置しても良い。なお、タイムキーパーは第二司会者を兼ねるものとする。第一司会者は委託者が配置する。

また、各発表会場に時計を設置すること。なお、時計はタイムキーパー用と会場全体用の 2 つ以上を設置すること。

ウ 立て看板及びメイン会場の横に看板を設置すること

エ 当日の発表の録音及び動画撮影（記録用。中継はしない。）

オ その他当日の運営業務に必要であると認められる業務

(3) その他必要となる業務

上記（1）～（2）の各業務に関連して必要となる業務については、併せて対応すること。

7 委託対象経費

委託料に含まれる経費は次のとおりとする。

- (1) チラシ、ポスターの製作費及び発送に係る経費
- (2) ホームページの運用に係る経費
- (3) 広報及び後援等依頼に関する経費
- (4) プログラムの作成補助及び印刷に係る経費
- (5) 予稿集の作成等に係る経費
- (6) 看板等の製作と設置に係る経費
- (7) 会場利用に係る経費
- (8) 受託事業運営スタッフ賃金、旅費
- (9) 当日の動画撮影及び録画に係る経費
- (10) 事業管理費
- (11) 消費税及び地方消費税相当額
- (12) その他業務に関連する経費

8 提出書類

受託者は、契約書に定めるもののほか、次の各号に掲げる書類を委託者の指定する日までに提出しなければならない。

なお、提出先は東日本大震災・原子力災害伝承館企画事業部事業課とする。

- (1) 委託業務着手届（第1号様式）
- (2) 担当者一覧（第2号様式）
- (3) 委託業務完了届（第3号様式）
- (4) 委託業務実績報告書（第4号様式）

※ 業務実施報告書（実施概要、記録写真）を紙面及びデータ（PDF及び編集可能なファイル形式）で添付すること。

- (5) 当日の発表にかかる録音データ及び動画データ
- (6) 予稿集及び記録用プログラムのデータ

9 委託料の支払い

委託料の請求書については、第5号様式のとおりとする。

10 その他

- (1) 本業務に関連する書類・領収書等は、契約締結後3年間保存すること。
- (2) 成果品一式の著作権及び所有権は、正当な手続きにより使用又は借用した第三者のものを除き、委託者に帰属するものとする。
- (3) 本仕様書に基づく作業に関し、第三者との間に著作権に係る権利侵害の紛争等が生じた場合は、当該紛争の原因がもつばら委託者の責に帰す場合を除き、受託者の責任、負担において一切を処理することとする。この場合、委託者は係る紛争等の事実を知ったときは、受託者に通知し、必要な範囲で訴訟上の防衛を受託者に委ねる等の協力措置を講じるものとする。
- (4) 本業務の遂行に当たり、受託者は業務上知り得た事項を第三者に漏洩しないよう十分注意することとする。
- (5) 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に定める内容について疑義が生じたときは、委託者、受託者協議の上、定めることとする。
- (6) ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と思われるものについては本業務に含まれるものとする。

第1号様式

令和 年 月 日

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
理事長 斎藤 保 様

受託者 住 所
名 称
代表者

委託業務着手届

令和 年 月 日付けで締結した下記委託業務は、令和 年 月 日付けで着手しましたので届け出ます。

記

- | | | | | | |
|---------|--------------------------|----|----|---|---|
| 1 業 務 名 | 東日本大震災・原子力災害学術研究集会実施業務委託 | | | | |
| 2 委託料の額 | 金 | 円 | | | |
| | (うち消費税及び地方消費税の額 | | 円) | | |
| 3 委託期間 | 着 手 | 令和 | 年 | 月 | 日 |
| | 履行期限 | 令和 | 年 | 月 | 日 |

第2号様式

令和 年 月 日

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
理事長 斎藤 保 様

受託者 住 所
名 称
代表者

担当者一覧

令和 年 月 日付けで締結した下記委託業務について、下記のとおり担当者を選任しましたので届け出ます。

記

- 1 業 務 名 東日本大震災・原子力災害学術研究集会実施業務委託
- 2 担当者一覧

令和 年 月 日

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
理事長 斎藤 保 様

受託者 住 所
名 称
代表者

委託業務完了届

令和 年 月 日付けで締結した下記委託業務は、令和 年 月 日をもって完了しましたので、届け出ます。

記

- | | | | | | |
|---------|--------------------------|----|---|----|---|
| 1 業 務 名 | 東日本大震災・原子力災害学術研究集会実施業務委託 | | | | |
| 2 委託料の額 | 金 | 円 | | | |
| | (うち消費税及び地方消費税の額 | | | 円) | |
| 3 委託期間 | 着 手 | 令和 | 年 | 月 | 日 |
| | 履行期限 | 令和 | 年 | 月 | 日 |

令和 年 月 日

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
理事長 斎藤 保 様

受託者 住 所
名 称
代表者

委 託 業 務 実 績 報 告 書

令和 年 月 日付けで締結した下記委託業務の実績について報告します。

記

- 1 業 務 名 東日本大震災・原子力災害学術研究集会実施業務委託
- 2 委託料の額 金 円
(うち消費税及び地方消費税の額 円)
- 3 委託期間 着 手 令和 年 月 日
履行期限 令和 年 月 日
- 4 その他

第5号様式

令和 年 月 日

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
理事長 斎藤 保 様

受託者 住 所
名 称
代表者
登録番号

委託料請求書

令和 年 月 日付で締結した下記委託業務について、下記のとおり請求します。

記

業 務 名 東日本大震災・原子力災害学術研究集会実施業務委託

項目	金額（税込）	うち消費税及び地方消費税
委託料（〇月〇日完了分）	円	円
合計	円	円
10%対象	円	円
8%対象	円	円

（振込先）

金融機関名	
支店名	
預金種別	
口座番号	
フリガナ	
口座名義人	

（発行責任者及び担当者）

	氏名	連絡先（電話番号）
発行責任者		
担当者		

※ 発行責任者とは、代表取締役、支店長、営業所長等、社内において権限の委任を受けた役職員とする。担当者とは、本業務に関する事務を担当する者をいう。